

「亀山のいきもの これなーんだ？」 Vol.6 最終回



このコーナーでは、本市の豊かな自然を多くの人に実感していただけるよう、身近なところにいるさまざまな生き物を隔月で紹介しています。

問合せ先 環境課環境創造グループ(☎96-8095)

テーマ 春を告げる生き物ーみんなで生き物の豊かな営みを守ろうー

ようやく寒さも和らぐ季節となりました。冬の間は姿を隠していた生き物たちも、もうすぐ来る春に向けて準備を始めています。

暖かい日なたには、在来種のシロバナタンポポ、春の七草でもあるホトケノザがかわいい花を咲かせています。また、モンシロチョウはサナギから羽化して飛び回り、テントウムシの仲間も冬を越した成虫が卵を産みます。これらの生き物たちは、暖かくなると春を彩る存在として、昔から親しまれてきました。

こうした生き物の豊かな営みを次世代へ守り継ぐため、市は、県内市町で初めてとなる「亀山市生物多様性地域戦略」を令和3年に策定しました。今後も同戦略に基づいてさまざまな取り組みを行い、人と自然が共生できるまちを目指していきます。



シロバナタンポポ



ホトケノザ



モンシロチョウ



ナナホシテントウ